

# みき通信

くぼたみき 活動報告

第27号 2013年2月15日

発行 がんばれ くぼたみきの会

連絡先 875-7126 (阿部)

## 町道の計画的整備で安全安心の町に！

全国的に高齢化が進む中で、葉山町では少しずつではありますが子育て世代が増えるのはありがたいことです。

ところで、この葉山の町で暮らしてゆくうえで、赤ちゃんからお年寄りまでみんなが困っているのが、いたるところで歩道が歩きにくいことです。狭いだけでなく、デコボコしていたり、斜めだったり、特にベビーカーや車いすが通りにくく、車道に出なければならぬところもあり、危険がいっぱいです。

一度には無理でも、計画的に整備して全町が歩行者にやさしい道路になれば、町民の誰もが喜び、行政がより身近に感じられるでしょう。

町長は、子育て支援に力を入れ、待機児童解消のため保育園を誘致しようとしています。また、みきさんと近藤昇一議員は小児医療費助成の対象年齢を引き上げるように取り組んできました。(小学校卒業まで実現・・・25年度に2才引上げを当初予算に計上され、小学卒業までとなります)

さらに、安心して暮らせるまちづくりのために、計画的な町道整備が少しでも早く進むとよいですね。

**第1回議会は2月14日から始まりました。25年度予算案を中心に審議されます。**

**本会議、予算委員会、各常任委員会も傍聴できます。**

**一般質問は、3月13日から始まります。(順番は後日抽選で)**

**多くの方の傍聴をお待ちしています。**

## 被災から2年、葉山町の防災は

くぼたみき

もうすぐ東日本大震災から二年。被災地のニュースを耳にしない日はありません。

私は、葉山防災ボランティアネットワークというボランティアグループの会員です。震災後、被災地を支援したいが現地にはなかなか行けないという方や現地に支援に行ったり、支援の様子をニュースで見た方が、もし葉山が被災したら葉山側の受け入れ体制が心配になるなど、色々な想いを持った人が集まって出来た会です。

実際、現地で「何かお手伝いがしたい」と多くの方が集まってこられました。援助を求めている方はたくさんいるのに、支援物資の滞りや、どんな支援を必要としているのか、どのような支援ができるのか、現状の把握や振り分けがうまくいかないということが起きていました。

その様なことを踏まえて、葉山が被災した場合を想定し、他の自治体の防災ネットワークとの連携を深めたりしています。

いまは、津波で流されてしまった陸前高田の図書館建設企画に賛同し、本を集めたり、また、女川の仮設住宅で始まった布草履作りのためにTシャツを現地に送っています。現在、本は1344冊、半分が買い取られて¥13,098円の現金と、Tシャツを150着、送ることが出来ました。葉山での小さな声が集まり、また続けることにより大きなものとなっていきます。

「被災したとき犬や猫は避難所に一緒に避難出来ないのでは」と心配の声があります。近隣の逗子、鎌倉では一緒に避難できる場所が考えられていますが、葉山町では未だでした。人命だけが先なのでしょうか。私が以前「みき通信」に同じ日に二カ所で家族の一員として想いのこもった犬のお墓を見たと言ったことを思い出しました。

震災より二年、葉山町の防災について色々なことを想定した対策をさらに求めていきます。